

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	681012	事務事業名	徳山駅周辺整備事業			
担当部・課名	中心市街地整備部・中心市街地整備課	評価者(課長)	野村 正純	評価責任者(部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	700501	分野	7産業・観光	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5中心市街地の賑わいの創出			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)徳山駅周辺整備事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	徳山駅周辺	事業の目的(意図)	快適で利便性の高い駅周辺にするとともに、都市の拠点づくりを行い中心市街地活性化につながる。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した、すべての人に快適で利便性の高い駅周辺の整備 ●(仮称)新徳山駅ビルの整備(H27～29) ●南口駅前広場の整備(H25～28) ●北口駅前広場の整備(実施設計) 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
～H26南北の交流人口 H27～街なか歩行者等通行量	～H26南北通路の通行量 H27～主要14地点の歩行者等 通行量(H31目標28,800人/日)		%		2,000.0	28,000.0	28,000.0
					1,607.0	27,056.0	
					80.4%	96.6%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
			直接事業費	千円	2,243,034	1,786,888	1,391,706
(予算額)	うち一財	千円	213,184	196,921	183,148	362,268	43,904
(決算額)	直接事業費	千円	2,260,802	898,625		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	326,151	94,574		事業の進捗や工事内容によるもの	事業の進捗や工事内容によるもの
	正職員人件費	千円	29,580	31,842			
	人工数	人	4.00	4.30	5.10		
	支出コスト	千円	決) 2,290,382	決) 930,467			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H21:都市計画決定告示 H22:JRと基本協定、工事協定を締結 H23～H26:南北自由通路及び橋上駅舎化工事 H25～H27:区画道路整備、駐輪場整備、新駅ビル基本設計・実施設計・解体工事・建築工事着手	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 平成27年度から新駅ビル建設工事に着手しており、十分な現場管理と安全対策に留意するとともに、自由通路の利用を妨げない工法の検討など、駅周辺利用者へ配慮しつつ着実に実施する。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	本事業は、駅周辺の重要な基盤整備で、南北自由通路をはじめとし、着実に整備が進んでおり、核施設である新駅ビルの建設にも着手した。その期待から、商店街においても中心市街地の再生に向けた取組みが形となって現れていることから、事業の早期完成を目指し推進していく。	評価責任者コメント	本事業は、2市2町が合併して誕生した周南市のリーディングプロジェクトであり、平成15年度から事業を開始し、ようやく新駅ビル建設に漕ぎ着けている。市の顔として、中心市街地の賑わい創出のための核施設として、南北広場を含めた早期の事業完工を行い、事業効果の発揮を行う必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
徳山駅周辺整備を円滑に推進させるため、引き続き関係機関と綿密に協議し、コスト面においても国の補助金を有効に活用できる組立をしながら、効率的に取り組む。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	現駅ビルの解体、(仮称)新徳山駅ビルの整備	新徳山駅ビルを整備し、交通結節点の利便性向上と駅前に新たな賑わいの拠点をつくる	現駅ビルの解体及び新駅ビルの建設、関係団体・所管課との調整	826,047 可	1.00	0.00	
②	設置管理条例、指定管理条例等の制定	施設の設置目的、管理運営方法を明確化するため、関係条例等の制定	施設管理、運営方法の検討、条例制定、関係所管課との調整	0 否	1.20	0.00	
③	南口駅前広場の整備	南口駅前広場の再整備を行い、ゆとり空間の整備と交通流の円滑化を図る	JR・地権者との調整	494 可	0.90	0.00	
④	北口駅前広場の整備	北口駅前広場の再整備を行い、憩いと賑わいの創出及び交通流の円滑化を図る	実施設計、補助金対応、JR・地権者との調整	15,757 可	0.80	0.00	
⑤	駐輪場・区画道路整備	駅周辺の駐輪対策を行うとともに、駅東側の車の通行の円滑化を図る	区画道路整備工事、駅東側駐輪場整備工事	56,327 可	0.40	0.00	

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	681013	事務事業名	中心市街地活性化事業			
担当部・課名	中心市街地整備部・中心市街地整備課	評価者(課長)	野村 正純	評価責任者(部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	700503	分野	7産業・観光	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	5中心市街地の賑わいの創出			補助・単独の別	補助
	推進施策	(3)魅力ある中心市街地の再生・充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	中心市街地の利用者	事業の目的(意図)	中心市街地活性化基本計画掲載事業について、官民連携のもと着実に実施していくとともに、民間による事業の掘り起こしを行い、その支援をしていく。 基本計画目標 ○新規出店数 H25～29累計目標 149店舗
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地活性化協議会や隣まちあい徳山とともに、中心市街地活性化基本計画掲載事業を推進するため、タウンマネージメント人材や民間事業を支援 ●「歩いて楽しむまちづくり」に向けた関係者との調整等 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	中心市街地14箇所における歩行者等通行量	中心市街地14箇所における歩行者等通行量(H31目標28,800人/日)	人	目標値	28,000.0	28,000.0	28,000.0
			実績値	26,106.0	27,056.0		
			達成度(%)	93.2%	96.6%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	35,378	135,382	11,637	24,398
うち一財		千円	20,708	19,771	7,915	20,484	8,673
(決算額)	直接事業費	千円	32,556	15,950		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	2,807	7,314		中心市街地活性化基本計画の検証や活性化の検討に係る委託料、賑わい交流施設の指定管理料	歩行者優先道路化にかかる工事請負費
	正職員人件費	千円	19,967	17,032			
	人工数	人	2.70	2.30	2.20		
	支出コスト	千円	決) 52,523	決) 32,982			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	中心市街地の活性化は重点課題であり、平成25年度からは「周南市中心市街地活性化基本計画」に基づき進めている。平成27年度は旧駅ビル解体、小規模複合商業施設の開業、銀南街リニューアルとハード整備が目に見えて進んだこともあり、歩行者通行量が2年連続で増加する等効果が出始めている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 歩行者優先道路化の実現については、周辺状況の変化、関係機関の理解・協力、地元合意等課題が多く、今後の事業の進め方を検討していく必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	基本計画の目標達成に向けて、事業を進めていく。また中心市街地の活性化には、公だけでなく、民間事業の推進も不可欠であり、今後も各関係者との連絡協議、地元調整等を密に行い、事業の熟度に合わせた支援を行うなど公民連携での活性化を図っていく。	評価責任者コメント	現在の中心市街地活性化基本計画は、平成30年3月末までが計画期間である。活性化の実現のため、これまでの事業進捗、目標達成度、事業効果成果を検証する中で、次期計画の策定の有無を含めたハード、ソフト事業における公民連携の在り方について検討する時期に来ている。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
これまで同様、官民一体となって中心市街地活性化基本計画を着実に遂行し、アメニティ施設の充実が図られるような施策を盛り込むなど、ハード整備とタイアップした中心市街地の環境の向上に取り組む。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	歩行者優先道路化基本設計	「歩いて楽しむまちづくり」の実現	銀座通り及び新町地区における歩道の拡幅、路上駐輪対策等快適な歩行者空間の実現のための基本設計(27繰越)	26	可	0.50	0.00
②	中心市街地活性化基本計画進捗管理ほか	基本計画の確実な推進	基本計画の進捗管理に必要な調査を行い、状況に合わせて基本計画を変更	3,064	可	0.50	0.00
③	関係団体及び民間事業への支援	中心市街地活性化に資する関係団体及び民間事業の支援による基本計画の確実な推進	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化協議会負担金、まちなかアメニティ補助金の交付 ・各団体と適宜協議を行い、助言等を実施 	3,918	可	0.60	0.00
④	Zooつと周南推進事業	中心市街地と動物園を含むエリアの回遊性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・まちあるきワークショップの開催 ・今後の事業についての検討 	1,256	可	0.50	0.00
⑤	銀南街リニューアル事業	老朽化したアーケードを撤去し、市道の高質化を行うことによる中心市街地の環境整備	銀南街の老朽化したアーケードを撤去し、併せて市道の高質化を実施(27繰越)	7,686	否	0.10	0.00

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	681015	事務事業名	中心市街地施設整備一般事務費			
担当部・課名	中心市街地整備部・中心市街地整備課	評価者 (課長)	野村 正純	評価責任者 (部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	900204	分野	9行政経営	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)その他			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	徳山駅周辺	事業の目的 (意図)	徳山駅周辺整備を推進し、中心市街地の活性化に資する。 徳山駅南北自由通路等の管理により、駅周辺利用者の利便性向上が図られる。
事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●徳山駅周辺整備を推進する環境の整備 ●徳山駅南北自由通路の維持管理 		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	利用者数	駅南口利用者		人/日	目標値	5,000.0	7,000.0
実績値					6,089.0	5,601.0	
達成度(%)					121.8%	80.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	23,036	24,568	25,269	24,192
うち一財		千円	19,079	19,492	20,283	19,388	19,388
(決算額)	直接事業費	千円	12,571	20,952		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	8,062	16,151			
	正職員人件費	千円	5,177	5,924			
	人工数	人	0.70	0.80	0.80		
	支出コスト	千円	決) 17,748	決) 26,876			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H19:南口エスカレーター棟の先行整備、維持管理業務開始 H22:JRと基本協定、工事協定を締結 H23~H26:南北自由通路及び橋上駅舎化工事 H26.9~:南北自由通路開通に伴い、通路全体の維持管理業務開始	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 利用者の安心と安全が確保できるよう、条例に基づいた適正な維持管理に努めていく。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	南北自由通路は、バリアフリー化の一環であり、市の責務として、維持管理の必要がある。また、南北の賑わい創出に大きく寄与する。	評価責任者コメント	南北自由通路は、バリアフリーに対応した建築施設としての要素を持つ通路である。このため、ライフサイクルコストを踏まえた維持管理を行っていく必要がある。また、電力の特定供給を受けるなど、コスト削減策を検討、実施する必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など) これまで同様、自由通路利用者の安全に配慮しながら、スペースの有効活用にも努め、適正管理を行う。	備考
--	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	徳山駅南北自由通路の維持管理	徳山駅南北自由通路の維持管理	各種契約事務	20,952 可		0.80	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	681025	事務事業名	緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業(中心市街地活性化人材育成事業)			
担当部・課名	中心市街地整備部・中心市街地整備課	評価者(課長)	野村 正純	評価責任者(部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	700503	分野	7産業・観光	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	5中心市街地の賑わいの創出			補助・単独の別	補助
	推進施策	(3)魅力ある中心市街地の再生・充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	まちづくり会社及び中心市街地	事業の目的(意図)	魅力ある中心市街地として再生・充実が図られ、中心市街地の活性化につなげる。 ●民間の活性化事業をコーディネートできる人材の育成 ●中心市街地内での店舗運営ができる人材育成の育成
事業の内容(手段)	●中心市街地活性化に資する民間事業の支援 ●地域人づくり事業の活用による、まちづくり人材の育成		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	育成した人材数	まちづくり会社及び中心市街地において育成した人材数	人	目標値	9.0	9.0	0.0
実績値				9.0	10.0		
達成度(%)				100.0%	111.1%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	0	26,365	0	0
うち一財		千円	0	0	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	627	25,502		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	0	0		※平成27年度で事業終了	
	正職員人件費	千円	2,219	4,443			
	人工数	人	0.30	0.60			
	支出コスト	千円	決) 2,846	決) 29,945			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成27年3月から1年間にかけての事業。活性化事業のコーディネートできる人材、及び店舗運営ができる人材育成について委託先と随時協議しながら進めてきた。	課題・問題点	特になし	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由		
	事務事業の方向性	今回の事業は臨時的な事業であったが、中心市街地の活性化に民間活力は不可欠であり、今後も活性化に資する人材育成を推進していく必要がある。	評価責任者コメント	中心市街地の活性化のためには、人材は不可欠である。「持続可能な」中心市街地を実現できる人材の育成、発掘等に今後とも注力していく。	

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	中心市街地活性化人材育成事業	育成した人材数(9人)	平成27年3月～平成28年2月までまちづくり会社及び民間事業者へ人材育成事業を委託	25,502		0.60	0.00
				可			
②							
③							
④							
⑤							